

郵政民営化情報システム検討会議
第 8 回ワーキングユニット（自由討議） 議事概要

日時：平成 16 年 12 月 24 日（金） 11:32 ~ 12:58

場所：郵政民営化準備室内有識者会議室

（加藤座長から示された報告の原案について、フリーディスカッションを行った。）

会議メンバーからの主な意見等

- ・適切な配慮とは、要すれば公社と関係当局が緊密な連携を図ってシステム対応に万全を期するということか。
- ・2005 年 6 月末までに、システム対応の前提となる業務要件等に係る不確実性をできるだけ減らすよう努めるべき、という趣旨の記述を盛り込むべきではないか。
- ・郵貯の基幹系システムに手を入れることにより生じるリスクを回避するためには、別立てのシステムを作るという選択肢もある。それが可能かどうか、可能だとしてそれを選択するかどうかについては、新経営陣の判断に委ねられるべきであるが、そうした事例があることは指摘しておきたい。
- ・情報システムの世界でも「ファイアウォール」は術語として使われるので、顧客情報の保護については、異なる用語を用いた方が紛れがない。